

栃木市立静和小学校 学校評価委員会

1 学校経営について

- 今年度はコロナが5類に移行し、PTAや地域と連携した活動が充実した。
- 昨年度の評価委員会での反省をもとに、学校評価アンケート項目の文言や内容を見直した。また、小中一貫教育における小中共通の質問項目である「あいさつ」を今年度の指導重点項目としたことにより、教職員が意識をして指導することができた。
- 教職員が、児童と向き合う時間をつくるために日課を工夫する。次年度は、水曜日を完全5時間授業とし、木曜日の6時間目に教科授業の他に委員会やクラブ活動を組み入れる。今年度取り入れた金曜日課は、放課後に学年会や教材研究の時間として有効活用することができたので、次年度も採用する。
- 学校評価No1「学校は楽しい」の項目では、児童は約95%、保護者は約90%が肯定的な回答だった。これは、子どもたちが学校は楽しいと思っていることであり、大変素晴らしいことである。

2 学習指導について

- 今年度、学校・学年行事が重なる時期があったため、大変忙しかった。落ち着いて学習に取り組む期間を設定した方がよい。そのためにも、学校・学年行事の時期と内容を精選・見直しをする必要がある。
- 学校評価No20に「メディア視聴時間」についての新しい項目を設けた。「家でのルールはなく、自由に見たり遊んだりすることができる。」と回答した児童と保護者との回答に差があった。長時間の視聴は、視力への影響だけでなく、学習意欲や学力にも関係してくる。児童の発達段階に応じた情報モラル教育を推進していく。また、授業参観・懇談会、家庭教育学級などを活用し、保護者への啓発が必要である。
- 「立腰」の指導を取り入れている。これは、姿勢だけでなく集中することや話を聞く姿勢への意識付けとなっており、岩舟中学区全校で指導している。

3 温かな人間関係づくりについて

- 学校評価No3「あいさつ」の項目では、今年度重点指導としたため教職員も例年より意識をして取り組んだ。そのため、評価項目の文言の変更はあったが教職員の「児童は、教職員や来校者に対して、自分からあいさつしている」評価が少し上がり、児童の「私は、みんなに自分から明るく元気にあいさつしています」評価は、昨年度とほぼ同等となった。今後は、TPOに合わせたあいさつができるようにしていきたい。
- 学校評価No4「正しい言葉遣い」の項目では、教職員に対して正しい言葉遣いを意識している児童は多い。しかし、休み時間や友達同士での会話において、乱暴な言葉遣いをしている場面が見られる。また、言葉の正しい意味を知らずに使っている場合があり、その都度指導をしている。

- 学校では、月に1回「いじめ」に関する児童アンケートを取り、必要に応じて教育相談を行っている。特に担任は、児童と向き合うための（話を聞く）時間をしっかり取りたいと考えている。

4 家庭や地域との連携について

- 学校評価No3「あいさつ」の項目では、評価項目の文言が変更になっても校内において「あいさつ」を意識しているため、昨年度とほぼ同等の結果となったが、保護者の「お子さんは、家族や家族以外の人に対して自分からあいさつしている」評価は少し下がった。これは、家庭における「あいさつ」への意識の差ではないか。そのため、今後も家庭や地域と連携して、あいさつをすることができる子どもの育成をしていく必要がある。
- 正しい言葉遣いに関しては、メディアの影響が大きいだろう。しかし、それと同時に、家庭内での正しい言葉遣いを意識してもらうことも必要である。家庭教育学級や親子学習会などを活用して保護者を啓発してはどうか。
- 学校評価No5「人の話を聞く態度がしっかりできている。」では、保護者と教職員は話を聞く態度で評価しているが、児童は、話を聞いているかどうかで評価しているため、保護者・教職員と児童との肯定的な回答に差があるのではないか。また、この「話を聞く態度」は、学校評価No1 1「自分の考えをもったり、分かりやすく伝えたりする力を身に付けている」とも関係があり、家庭で保護者が子どもの話をしっかり聞くようにすれば、子どもは自分の考えを分かりやすく伝えるようになるのではないか。「聞く」と「話す・伝える」は表裏一体である。
- 学年ごとの月当番保護者の登下校見守りは、大変よい活動である。具体的なやり方（あいさつや交通ルールの声掛け等）についても記載して通知を配付すると、さらによいと思う。

5 その他

- PTA活動が活発でないため、PTAを抜きたいと訴えた人が他の地域でいると聞いたことがある。本校は、いろいろと工夫されていて、とてもよい。
- 最近では、行事を土日を実施しない方向である。土日は、習い事や校外での様々な活動に参加している児童が増えたことが原因か。中学校の部活動の地域移行等、トータルで考えないといけない。
- 静和は、とてもよいところである。地域の中でも、児童はよくあいさつをしている。
- 学校評価No1 3「いじめ」についての問いは、いじめを感じているかという核心に迫った文言にした方がよいのではないか。
- 学校評価の保護者通知に、保護者・児童・教職員の三者の評価を記載するのはどうか。また、評価に対する考察を記載するとよいのではないか。
- 学校における教職員の働き方改革については、教職員のアンケートによると多忙の要因第1位に人員不足とあるが、これは県や市に予算を取ってもらう必要があるだろう。また、地域で協力できることがあれば力になりたい。